

# 漢字ドリル・計算ドリルの宿題がでたら...

## 低学年

時間があれば、宿題をする姿を見守って下さい。「下敷きはひいた？マスから出ないように書こうね。」など声をかけながら、鉛筆の持ち方や姿勢のチェックをして下さい。できた時は、きれいな字で書けているところをほめて、くずれている字があれば、書き直させます。

## 中学年・高学年

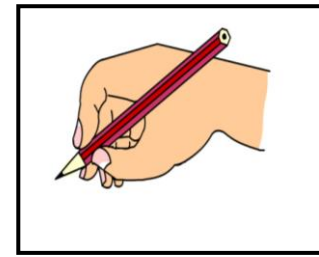
高学年になるにつれ、薄い字や小さい字になって字が雑になってしまいます。低学年では意識できていた「とめ・はね・はらい」を大切にしたいものです。漢字は読み方も書かせると、力がつきます。間違っただ問題はドリルに印をつけさせると、苦手な範囲が一目で分かり、復習しやすくなります。

# NGワード

- ✕ 「いつまでやってるの早くしなさい！」
- 🌸 「〇時までには終わるようにがんばろうね。」
- ✕ 「きたない字！きれいに書きなさい。」
- 🌸 「ゆっくり、丁寧に書こうね。」
- ✕ 「間違いが多い！」
- 🌸 「分からない問題をいっしょにしよう。」
- ✕ 「宿題やったの？」
- 🌸 「今日やるべきことはやった？」

# 正しい鉛筆の持ち方と姿勢

きれいな文字を書くためにも、長時間書いて疲れなためにも、正しい持ち方は大切です。



- ① 親指と人差し指で丸をつくります。
- ② 鉛筆の先を上に向け、丸をつくった親指と人差し指ではさみます。
- ③ 鉛筆をくるっと回して中指を添えます。

おなかと机の間は、拳一つ分あける。背中にはピンと伸ばす。足の裏は地面にしっかりつける。

「ゲー ペタッ ピン」

# 音読の宿題がでたら...

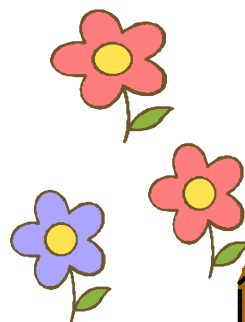
## 音読のポイント

- (1) 意味のまとまりごとに読めているか
  - (2) 「、」「。」を意識しているか
  - (3) きちんと口を動かして読めているか
- 機械的に読んだり、棒読みになったりしていないか注意して下さい。

声に出して読むことは、脳を活性化するとともに、言葉の習得に欠かせません。言語は声や文字に表出して相手に伝える大切な手段なので、音読は大変重要です。

はじめに「どんな目標で読むの？」と聞いて、目標を持たせて下さい。もし3回読むのが宿題なら、「2回は自分で練習して、3回目を聞かせてね。」と声かけをするなどして最後の1回をしっかりと聞いてあげてください。「よく読めたね」「すごいじゃない！」という言葉と一緒にサインをしたり、はなまるをして下さい。

棒読みになっている箇所があれば、「そのところだけもう一回、気持ちを込めて読もう」と声をかけましょう。



# ほめることを大切に☆

# 自主勉強ノート「学ちゃん」で力をのばそう

3年生～6年生は、自主勉強ノート『学ちゃん』を使って、自分で自分の力を伸ばす力をつけていきましょう。予習や苦手分野の復習、興味があることを詳しく調べてみる等、幅広く力をつけていきましょう。

どんな学習をすれば良いか困った時は、ノートに貼ってある自学メニューを参考にさせて下さい。やりやすい内容から始めさせると子どものやる気を引き出せます。



## 自学メニュー紹介

- 写真や新聞記事を切り抜き、内容をまとめて、感想を書く。
- 身近にある不思議を発見し、調べる。
- 授業で分からなかった問題にチャレンジ
- ことわざや四字熟語の意味調べ
- 先生に伝えたいことを書く。

## 学習のつまずきチェック

プリントをお直ししないまま帰ってくることはありませんか？

間違っただ問題は、成長のチャンス！解き直すことで、つまずきの早期発見ができます。「プリントのおなおしをして、先生に出そうね。」と声をかけて下さい。

子どものテストを見ていますか？

テストは成長の証。子どものがんばりをほめてあげて下さい。苦手分野があれば、お家でいっしょに考えるきっかけにして下さい。

